

平成27年7月

## 唐津港大型客船等入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、唐津港東港1号岸壁の整備完了後（関連水域施設等については現状）において受入れが計画されている大型客船（2.6万GT級及び2.2万GT級）とRORO船（6,700DWT級）の同岸壁への入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

入出港の安全性については、外力下におけるアプローチ・回頭・着離岸の各要素操船について、ファストタイム操船シミュレーション及び簡易景観型ビジュアル操船シミュレータを用いた操船実験を行って検証し、入出港時の安全性を調査・検討して必要な航行安全対策を取りまとめた。

なお、防波堤口から着岸位置までの間の減速航行及び回頭操船時に風による圧流が見られ、附近浅所への接近が懸念されたことから、浅所の位置等を示したうえで留意事項として提言した。

また、船体に作用する風圧力等の外力影響、岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査し、対象船舶の許容接岸速度及び安全に入出港が可能な気象・海象の外力条件等について取りまとめた。

係留中の安全性については、OCIMFの計算手法によって検討した結果を用いて、係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 受入計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 大型客船等入港に伴う検討課題の抽出および検討方針
- (5) 入出港の安全性に関する基礎検討
- (6) ファストタイム操船シミュレーションによる外力影響の検討
- (7) 簡易型操船シミュレータ実験
- (8) 係留の安全性の検討
- (9) 航行安全対策